



小平六中だより

令和7年度 第7号
発行 令和7年11月17日

「合唱コンクールを終えて」

実行委員長 谷口早苗

令和7年度小平第六中学校合唱コンクールが10月29日（水）ルネこだいらにて行われました。「青春謳歌～今までにない最高な歌声を響かせろ～」というスローガンを掲げ、生徒たちは実行委員を中心に約2週間の練習期間を意欲的に取り組んでいました。

当日のクラス発表はどのクラスも素晴らしいものでした。1年生は初めてということもあり緊張のステージでしたが、2年生は昨年の経験を活かしたレベルの高いものになりました。そして3年生は、最高学年にふさわしい貫禄のステージで、1, 2年生のお手本となるような素晴らしい合唱でした。どのクラスも実行委員を中心に、自分たちの合唱を創るために、工夫したり、努力をしたりしてきたということがわかるものでした。

合唱以外にもステージマナーや鑑賞態度、登下校の態度も金賞を目指そう、ということで当日を迎えたが、多少反省すべきところもあったようです。来年度はすべての面で「金賞」を目指す合唱コンクールにしていってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、当日の観覧やこれまでのご理解ご協力ありがとうございました。



「道徳地区公開講座について」

担当 会田 傑

道徳地区公開講座を10月11日（土）に実施しました。

今年度は、『生命の尊重』というテーマの下、各学年に応じた教材を用いて全学級が「特別の教科 道徳」の公開授業を行いました。

授業公開後は体育館に移動し、講師・水戸部ゆうこ氏に講演していただきました。水戸部ゆうこ氏には共生社会を実現するためのがん教育の一環として『がんについて』というテーマでお話いただきました。

普段からがんの話題に触れる生徒は多くはないと思いますが、多くの生徒が真剣にがんについて学び、考えていた姿が印象的でした。また、ワークシートにも水戸部ゆうこ氏への温かい応援メッセージや熱心な質問も多く、講演会が有意義であったことを確信しました。今後も折にふれて生命の尊さについて考え、大切にしてほしいものです。



その後、保護者の方や地域の方々と、道徳授業や共生社会、がんなどについての意見交換を行いました。

多くの保護者・地域の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

「ふれあいアンケートの実施について」 生活指導主任 平田 勇人

6月に続き、11月もいじめの早期発見、実態把握のために生徒を対象とした「ふれあいアンケート」を実施します。いじめは絶対に許されるものではありません。6月と同様に、今年度は学校で実施したいと思います。素早く全容を把握し、いじめに対して早急に対応するためです。ご理解ください。実施の際には生徒への配慮を最大限行うとともに、調査した個人情報の扱いには細心の注意を払います。記名、無記名につきましては、様々なご意見があるかと存じますか、即対応し解決するために記名式とさせて頂きます。

「第2回進路説明会 校長あいさつ」

校長 大島 義明

*10月21日に行われた第二回進路保護者説明会での校長あいさつからの抜粋です。

受験とは、自ら受験校を決定し、合格に向かって努力することを通して、自分を律しようとする「自律心」を高め、計画的に物事に取り組む習慣が身につく、「生きる力」を育む絶好の機会であり貴重な経験です。さらに、「自分に合った進路先を探す」と言うことは、自分と向き合い自分自身を見つめ直すことです。

皆さんはここ数か月、自分自身の理解が深まりましたか？

例えば、自分にはどのような特徴があるのか？考え方にはどのような傾向があるのか？興味は？関心は？自分を生かすためにはどのような環境が良いか？などです。自己理解が深まり志望校を決定した上で、もしあなたが推薦という制度を利用して受験を考えるならば、自分自身の理解の他に、中学校3年間の自分と向き合い、そして今後の高校生活3年間の自分の振舞いを決意する必要があります。

推薦制度は都立と私立がありますが、特に都立推薦の場合は意識しなければならないことがあるので、気を付けてください。それは、都立高校の受検は、推薦受検と一般受検がありますが、単に都立受検の機会が2回あると考えるものではないということです。

どういうことかと言うと、推薦は、六中の代表として推薦されるものです。受検までの学校生活だけでなく、六中を卒業するまでの学校生活を大切にすることはもちろん、高校に入ってからも推薦を受けた者として、高校3年間、勉強や部活等に励み、他の模範となる生徒であるべきなのです。皆さんのが都立推薦制度を利用したいと思う場合は、次の4つのことを行った上で、担任の先生に相談してみてください。

1つ目、中学校3年間の自分と向き合う　2つ目、高校3年間の振舞いを決意する　3つ目、都立高校からの条件（期待する生徒の姿）に自分が合っていると確認できる　そして4つ目が内申から判断して合格の可能性を探ることです。この4つのことですが、推薦受検を利用する生徒のさんは、ほとんどが、学校生活をがんばってきた生徒ですので、合否に関わる差は、内申点の差に表れてくることが多い様です。以上4つのことを確認して担任の先生に申し出てください。

最後に、私が言いたいことは、15歳の進路はあなたの人生の中で、通過点でしかないということです。本気で取り組むなら、人生にはまだいくらでも道は開けますし、いくらでもやり直しができると私は思っています。ただ、自分の人生には誰もが本気で取り組むべき時が何度か訪れます。例えば就職試験だったり、大学受験だったり人によって異なります。あなたにとって、その本気で取り組むべき1つがこれから数ヶ月だといえるでしょう。うまくいかない時にそれでも続ける努力を底力と言いますが、中学校3年間の頑張りの集大成として皆さんの底力を見せてもらいたいです。そして、最も大切にしたいのは、受験の結果がどうであれ、進路先に進んだ後の生活です。充実した生活を送ってもらいたい。そのためには進路選択は、自分で決定してください。たとえ保護者や周りの大人の助言をもとに自分で決定しても構いません。自分で選んだ進路を自分の責任として最後までやり切る。その覚悟をもって取り組んでもらいたいです。これからも担任や学年の先生に相談してください。　超えていきましょう。答えはあなただけのものだから。

「体育着、ジャージ変更のお知らせ」

近年の物価高騰に伴い、現行の体育着、ジャージが来年度より価格が大幅に上昇してしまいます。従って令和8年度新入生より、体育着とジャージを新しくします。現1、2年生が買い直す場合は、現行のものでも新しいものでも購入いただけます。

「三者面談、保護者会について」

11月下旬から行われる三者面談は全学年で実施します。日程のご案内はすでに担任より配布していると思います。ご確認の上ご来校ください。また、12月に予定されている保護者会ですが、1年生はスキー教室の説明会も兼ねるので学校にて実施、2年生は配信で行います。スクールメールで連絡しますので、ご確認ください。3年生は三者面談を行うので、12月の保護者会はありません。

生徒の活躍

都大会出場 男子バレー部、卓球部
〈税の作文〉東京税理士会東村山支部 支部長賞 2年
〈税の標語〉小平市長賞 1年
〈地域活動部〉11月1日小平福祉園「こすもすまつり」参加

今月（後半）の主な予定

13(木)期末考査～17日(月)
18(火)①②カット 給食後下校
19(水)職員会議
文部両道ジョイナス
20(木)脊柱側わん検診(2年生)
23(日)勤労感謝の日
ESAT-J テスト日
24(月)振替休日
27(木)月曜日の授業
28(金)3年成績判定会議
部活動再登校 15:50

来月の主な予定

1(月)1年生お薬教室
2(火)三者面談始～9(火)まで
4(木)英検申し込み(1月23日実施)
8(月)生徒朝礼
10(水)各種委員会
12(金)1,2年保護者会(1年生体育館、2年生オンデマンド)
14(日)ESAT-J テスト予備日
24(水)美化活動
25(木)終業式
26(金)冬季休業日開始

*令和7年12月29日(月)～令和8年1月3日(土)の期間は、
学校の敷地内に入れません。